

Autodesk DirectConnect 2008 の新機能



このセクションでは、2007年8月にリリースされた2008.07バージョンでの拡張と各種修正事項の概要を説明します。これは、以下のセクションに区分されています。

Autodesk 製品の新機能

フォーマット別新機能

Autodesk 製品の新機能

Autodesk AliasStudio 対象

UGS NX ファイルについて、AliasStudio へのインポートおよび AliasStudio からのエクスポートが可能になりました。UGS NX のパーツおよびアセンブリ (.prt) ファイルは、バージョン V13.0 から NX 5.0 までサポートされています。

Autodesk Showcase 対象

UGS NX 5.0 ファイルをインポートできるようになりました。

フォーマット別新機能

UGS NX の拡張

- バージョン 5.0 ファイルがサポートされるようになりました。

CATIA® V5 の拡張

- Catia V5 ファイルの日本語文字がインポートされるようになりました。
- Catia V5 R17 のオフセットサーフェスが正しく処理されるようになりました。
- Catia V5 ファイルのインポート時、ジオメトリセットの非表示オブジェクトは処理されないようになりました。

IGES/STEP の拡張

- IGES/STEP の全般的な安定性が改善されました。

リリースノートおよび制限事項

- AliasStudio 2008 SP1 へのアップグレードを行っておらず、UGS NX ファイルをインポート / エクスポートする AliasStudio 2008 のユーザーの場合：

UGS NX がお使いのマシンにインストールされている場合は、何もする必要がありません。インストールされていない場合は、環境変数 **UGII_ROOT_DIR** および **UGII_BASE_DIR** を環境に追加する必要があります。これらの環境変数を設定する場合は、環境変数を設定するには に記載されている手順に従ってください。この制限項目は AliasStudio 2008 SP1 では削除されています。

警告 :UGS NX がインストールされている場合にこの変数を変更すると、プログラムが正常に動作しなくなる場合があります。

環境変数を設定するには

1. Windows のツールバーから、**スタート > 設定 > コントロール パネル** を選択します。
2. **システム** をダブルクリックします。**システムのプロパティ** ウィンドウが表示されます。
3. **詳細** タブをクリックします。
4. **環境変数** ボタンをクリックします。
5. システム環境変数で **新規** をクリックして、次の情報を入力します。
 - **変数名** を入力します (例 :UGII_ROOT_DIR)
 - **変数値** に、1 と入力します。

© Copyright 2007 Autodesk, Inc. All rights reserved.

Autodesk、AliasStudio、AutoCAD、Inventor、Maya および Showcase は、米国およびその他の国における、Autodesk, Inc. の登録商標または商標です。その他全てのブランド名、製品名、または商標は、それらの各所有者に帰属します。Autodesk は製品内容および仕様を事前の通知なく変更する権利を有します。また、本資料の文字または図表の誤記について責任を負わないものとします。

